



昂立教育集团 组编

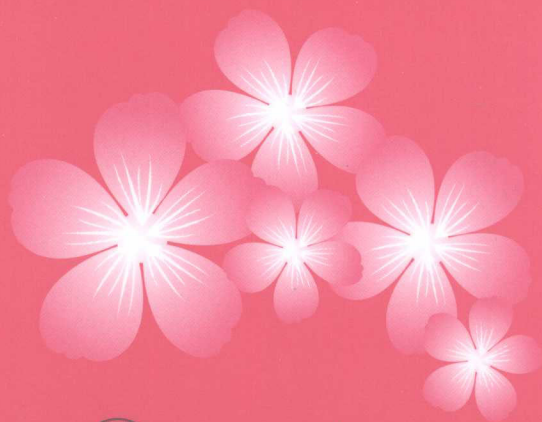
昂立日本语系列

N2 新日本语能力考试 读解攻略

总策划 王炳仁

本册主编 赵莹波

副主编 黄族华



上海交通大学出版社
SHANGHAI JIAO TONG UNIVERSITY PRESS

新日本语能力考试 N2 读解攻略

总 策 划 王炳仁
本册主编 赵莹波
副 主 编 黄族华

上海交通大学出版社

内 容 提 要

本书是在日语能力考试形式发生变化的背景下全新编撰的,针对最新的 N2 的读解要求采用了最新素材,文章涉及文学、科普、报道等各个领域。由“基础训练:句子攻略”和“实战练习”两大部分构成。“实战部分”共计二十一课,每课分别由短篇、中篇、长篇三篇文章组成。每课后面还有诸如“数独”、“智力游戏”、“绕口令”等有趣的日语相关知识。每册后面还附有“读解模拟题”和“2010 年读解全真题”以及参考答案。

图书在版编目(CIP)数据

新日本语能力考试 N2 读解攻略/赵莹波主编. —上海:
上海交通大学出版社,2012
(昂立日本语系列)
ISBN 978-7-313-07623-6

I. ①新… II. ①赵… III. ①日语—水平考试—自学
参考资料 IV. ①H360.41

中国版本图书馆 CIP 数据核字(2011)第 158719 号

新日本语能力考试 N2 读解攻略

赵莹波 主编

上海交通大学出版社出版发行

(上海市番禺路 951 号 邮政编码 200030)

电话:64071208 出版人:韩建民

昆山市亭林印刷有限责任公司印刷 全国新华书店经销
开本:787mm×1092mm 1/16 印张:13.5 字数:317 千字

2012 年 4 月第 1 版 2012 年 4 月第 1 次印刷

印数:1~5 030

ISBN 978-7-313-07623-6/H 定价:32.00 元

版权所有 侵权必究

告读者:如发现本书有印装质量问题请与印刷厂质量科联系
联系电话:0512-57751097

昂立日本语系列丛书编委会名单

顾问

高胜长 昂立教育集团教育研究院 院长
李先瑞 解放军外国语学院 教授
廖怀宝 昂立教育集团 教研专家
李延彬 昂立教育集团日语上海总校 校长
严钦佩 昂立教育集团 江苏运营总监

主编 姚新红 单利君

编委 (排名不分先后)

品爱春 徐克强 吴天江 赵伟雄 王 磊
赵莹波 王族华 董 冰 李 倩 魏 华
姜 晖 吕玉元 姚 婷 胡天星 孙 娟
王 俊 李嘉琪
雨河 良树 翠尾 夕子 松泽 知明 木村 亮太
高尾 真 奥田 聪

前言



本书是在日语能力考试形式发生变化的背景下全新编撰的,针对最新的 N2 读解要求,采用了最新素材,文章涉及文学、科普、新闻等各个领域。

本册分别由“基础训练——句子攻略”和“实战练习”两大部分构成。每课分别由短篇、中篇、长篇三篇文章组成。

在第一部分——“基础训练:句子攻略”(第一课到第七课)里,每一课开始都有一个小专题,通过对历年读解文章的解析,每次解决一个应试问题,并针对 N2 最新出现的信息检索的题目进行专门解析。

在第二部分——“实战练习”(第一课至二十一课)里,主要通过大量的练习,达到能熟练地读解长文的程度,在这一部分,每篇文章的后面都有点评、难度系数、重点句、关键句以及重点句的汉语译文,以供大家参考。

另外,每课后面还有诸如“数独”、“智力游戏”、“绕口令”等有趣的日语相关知识。书后面还附有“读解模拟题”和“2010 年读解全真题”以及参考答案。

在本书编撰过程中一直得到姚新红老师、张淑芸老师的热情指导,在此表示衷心感谢。单利君老师、张银杰老师为本书的编写做了大量的工作并提出了宝贵的建议,也一并表示感谢。

感谢河南理工大学外语学院的李红老师和郑州大学西亚斯国际学院的张志华老师、邹燕老师、尚果老师在本书的编写过程中付出的辛勤劳动。还要感谢叶亭玉老师、王蓓华老师。

最后还要感谢上海大学日语系的学生:彭怡、赵怡佳、丁一心、潘韵竹、张佳慧、沈亚君、何旭萍、谢雯茜、刘启慧、方贤慧、徐梦兰、李义翹、戴越、林莹、王心怡、徐大千。

由于时间仓促,水平有限,难免挂一漏万,希望各位同仁和同学们多提宝贵意见。

编者

2011 年 10 月

目 录



第一部分 基础训练:句子攻略	1
第一课 难点攻略:找主语	1
第二课 难点攻略:找指示代词	5
第三课 难点攻略:找长定语	9
第四课 难点攻略:找被动态	13
第五课 难点攻略:找因果关系	17
第六课 难点攻略:找观点	22
第七课 难点攻略:找情报信息	28
第二部分 实战练习	32
第一课 京大で卒業式	32
第二课 子どもや女性を守る「さくらポリス」発足	38
第三课 人生の青春	45
第四课 「雪つり」作業始まる	51
第五课 新郎新婦の思い 自由	58
第六课 「脱ゆとり」ページ3割増 小学教科書検定	65
第七课 甲子園じゃあるまいし	74
第八课 最新のエアコンはエコだと思う	81
第九课 行政サービスの対価がデフレしたと考えるべき	87
第十课 電子書籍の未来	95
第十一课 久しぶりの遊園地	101
第十二课 世界に広がる「サムライ」の輪「禅」	108
第十三课 知的生産の技術	115
第十四课 賭博の土壌	123
第十五课 母ならではの「演技指導」	131
第十六课 ストレス美容の嘘	138
第十七课 上手な言葉づかい 言葉と言葉づかい	145
第十八课 五輪のもたらした熱い元気	154
第十九课 ハイブリッド車などに“人工音”を義務づけ	160
第二十课 五十肩	166
第二十一课 セリにナズナ…七草粥を食べて無病息災	173
N2 読解模擬	180
2010年7月日本語能力試験 N2 読解	195
附录	204
正文练习答案	204
N2 読解模擬正解	205
2010年7月日本語能力試験 N2 読解正解	206

第一部分 基础训练：句子攻略

第一课 难点攻略：找主语

对文章的读解，就是对内容的理解。那么如何把握文章内容，如何搞清楚作者的意图，需要分析句子的结构，找到日语句子的特点。

我们分析日语长句，就要对这些长句进行解析。切到不能再分的句子的最小单位——“词”，这对文章的理解有很大的帮助。

读解难点之一：主语常脱落，隐藏在语义中或在后面

日语的句子结构一般都是以“ます”或者“です”结句。即“～は ～ です”什么是什么。或者：“～は(who) ～(when) ～で(where) ～ので(why) ～を(what) ます”什么事情(或人)，在什么时间，在什么地点，为什么，发生了(做什么事)。也就是说，一个句子要说清楚一件事情必须具备5个元素，即5个“W”，首当其冲的是“主语”(who)。不过日语句子中的主语，却常常“缺席”。

☞ 例① 六本木を歩いていた。夜のことだった。私は、デートをしていたのだった。お食事をしたあと、私たちはブラブラと人通りの多い道を歩いていた。そんな六本木も、一寸した裏通りに入ると、急に人が少なくなって静かになる。そのとき、私は、道路に置いてあるポリバケツに、頭をつっこんでいいる小さいペンギンを見た。

以上例子的主语清晰可见，都在自己的位置上，一目了然。我们可以轻松地找出来。但日语的主语有时常常省略或者主语和谓语部分相距甚远。请看下面句子：

☞ 例② 旅に出るときはいつも、少し気が重いのです。面白くて刺激的な出来事が旅先で持っているであろうことは理解しているけれど、何ら不便を感じることもない日常世界から少しのあいだ離れなくてはならないのが、不安でありおっくうであり。

一方で旅は、日常生活から逃げるといふ行為でもあります。面倒臭い諸問題や憂鬱な気分から一時的に足抜けするために、人は旅に出るのでもありましょう。

ぬるま湯から出るときのような「このままでいたいのに」といふ気分が、半分。できるだけ早く遠くまで逃げたい気分も、半分。そんな気分で私は、出発の日を迎えました。

(酒井順子「韓流鉄道ぐるり旅」『旅』2004年8月号による)

2009年2級

問1：“少し気が重い”ことと“不安でありおっくうであり”というのがだれですか。

問2：“逃げるという行為”“足抜けする”“出る”という動作がだれですか。

問3：“逃げるという行為”“足抜けする”“出る”“逃げるという行為”“足抜けする”“出る”
というのはだれですか。





看了例②第一段我们能找出“少し気が重い”或者“不安でありおっくうであり”的主语吗？其实主语是“我们”，是“我们”或者是“人们”感到“心情沉重”、“不安和为难”。很多时候日本人不太喜欢把“我”和“我们”放在主语的位置上，喜欢省略，隐藏在语义中。第二段“逃げるという行為”“足抜けする”“出る”的主语是句子后面的“人”。第三段“早く遠くまで逃げたい気分も、半分。そんな気分”和“日を迎えました”的主语是“私”。

由此可见，日语特点之一：主语常脱落，隐藏在语义中或在后面，有时主语省略，主语就是“我”、“我们”或者是“作者本人”。

难点攻略：找出主语，查出动作的出处

例③

不思議なことがある。

見るからに勉強している、練習している受験生やスポーツ部員に比べ、それほど勉強しているように見えない、あるいは練習しているように見えない受験生やスポーツ部員のほうが、より高度な試験に受かったり、活躍したりする。

なぜ、そうなるのだろう。前者は勉強や練習を特別なことと位置づけているのではないか。後者は当たり前のこととして、日常生活の一環として取り組んでいるのではないか。日常、肩に力を入れて暮らしている人はあまり活躍できない。

（国友隆一『帝国ホテル 王道のサービス』による）

2008 年 2 级

問 筆者によると、高度な試験に受かったり活躍したりする人はどんな人か。

1. 常に全力で努力し、勉強や練習に必死になって取り組んでいる人
2. 高度な試験に合格するように、特別な勉強を日常的に取り入れている人
3. 勉強や練習を特別なこととは考えず、日常生活の中で普通に行っている人
4. ほかに人から見ても、がんばっていると判断されるような生活を送っている人

例③中的动作的主语脱落，但都隐藏在句中，说的是两种不同的人。那么“筆者によると、高度な試験に受かったり活躍したりする人はどんな人か。”是什么人呢？是 1 和 4 所说的“努力学习的人”吗？因为文中写到“見るからに勉強している、練習している受験生やスポーツ部員に比べ、それほど勉強しているように見えない、あるいは練習しているように見えない受験生やスポーツ部員のほうが、より高度な試験に受かったり、活躍したりする”。也就是说这种人应该都是些看似不怎么学习的人。所以不能选择 1 和 4；那么是 2 所说的“为了考试过关而在日常生活中特别地重视”的人吗？但文中有“後者は当たり前のこととして、日常生活の一環として取り組んでいるのではないか”。也就是说这些人应该都视学习为理所应当，应成为生活中的一部分。所以 2 也不对。正确答案是 3。

例④

アンケート実施についてのお願い

拝啓

いつもお世話になっております。



昨年夏に販売を開始いたしました商品「エネルギー Z」は、おかげさまで売上を伸ばしてまいりました。来月、本製品販売 1 周年を迎えるにあたり、製品の使用効果、値段などについてお客様のご感想やご希望をうかがいたくアンケートを実施することにいたしました。

つきましては、本製品をお買い上げのお客様へのアンケート用紙の配布およびご協力の呼びかけをお願いいたします。

販売店のみなさまにはご面倒をおかけいたしますが、よろしくお願い申し上げます。

敬具

2010 年 N2 真题

問 ご協力とあるが、だれが何に協力するのか。

1. 販売店が、この製品の売り上げをさらに伸ばすことに協力する。
2. 販売店が、お客様にアンケート用紙を渡すことに協力する。
3. この製品を買った人が、それをほかの人にすすめることに協力する。
4. この製品を買った人が、アンケートに答えることに協力する。

本句中“協力”的动作者是指“本製品をお買い上げのお客様”。因此正确答案为“この製品を買った人が、アンケートに答えることに協力する”。

通过这个例子，我们进一步认识到日语的主语除了省略之外，还可能隐藏在句子中，所以要特别地加以注意。

攻略方法：找出主语，查出动作的出处

練習問題 1：

他人に注意するのが好きな人がいる。切符売り場などで、人々が列をつくって並んでいるのに割り込む人に、「みんな、順番で待っているのよ」などと注意する。内心、何か言いたい、と思っていた他の人々は、「代わりに言ってくれてよかった」と、ほっとする。注意されたほうは、文句を言いつつも、列の後ろに並ぶ。

問 「みんな、順番で待っているのよ」などと注意する人が誰ですか。

1. 内心、何か言いたい、と思っていた他の人々
2. 作者
3. 注意されて、文句を言いつつも、列の後ろに並ぶ人
4. 他人に注意するのが好きな人

練習問題 2：

私は嫌われているのではないかと思うと、そう思っていそうな相手から何とかして好かれないと考えてしまいます。男性にも女性にも、大して自分が関心をもっていない人に対しても、そう思うのです。このため、その相手ともしっかりコミュニケーションをとろうとしてしつこくなってしまうたり、思ってもいないことを言ったりしてしまいます。

(藤原正彦「藤原正彦の人生案内」による)



問 「そう思っていそうな相手」とはどう思っていそうな人か。

1. 私を嫌っていない。
2. 私が嫌っていない。
3. 私を嫌っている。
4. 私が嫌っている。



第二课 难点攻略：找指示代词

找出了消失的“主语”，弄清楚了动作的出处，就能使我们更好地理解文章。除此之外日语还有一个表现形式要特别注意。那就是“指示代词”。“こ、そ、あ、ど”系列的这些“指示代词”看似很渺小，没有词尾等形式的变化。但是，这些“渺小的”词常常代表千言万语，代表说过的话或者将要说的话，以及“人”和“事”。可以说是指点前后，扑朔迷离。一般来说“こ”是指刚提到的“人和事”、将要说的“人和事”以及表示主观的看法；“そ”指刚提到过的“人和事”以及客观看法；“あ”是指双方都知道的“人和事”；“ど”是指未知的“人和事”。

读解难点之二：指示代词“指点前后，扑朔迷离”

例① たとえば、自分が気に入っている人や好きな人については、いい面ばかりが見えるし、やってもらったいいことばかりを思い出すのに、嫌いな人については悪い面ばかりが見えたり感じられたりする。その人がしたことについては、悪いことばかりを思い出すのです。

（和田秀樹「あなたは、絶対幸運をつかめる心理学」による）

2009年2级

問 「その人」とは、だれのことか。

1. 好きな人
2. 嫌いな人
- 3.気に入っている人
4. ほとんど覚えていない人

纵观全文，这里的指代「その人」是指前面刚才提到的“嫌いな人”。

例② 日本は、1950年代後半から経済の成長がいちじるしく、供給がどんどん増加し、国民一人あたりの所得も上がってきました。この時期を境にして、需要と供給のバランスが逆転しました。現在の日本は完全に供給が過剰、需要が不足している時代です。

ものをつくる企業はこういうときにどうするのでしょうか。なんとか買ってもらって、利益を生み出さねばなりません。他の企業に負けないで自分たちのつくった商品を買ってもらうためには、他とちがうこと、いわゆる②差別化をしなければいけません。

（八太昭道「新版 ごみから地球を考える」による）

問 「こういうとき」とはどういうときか。

1. 生産が多すぎて、消費が少ないとき
2. 生産が少なすぎて、消費が多いとき
3. 生産も消費也多すぎるとき
4. 生産も消費も少なすぎるとき

纵观全文这里的指代「こういうとき」是指刚才提到过的“完全に供給が過剰、需要が不足している時代”，所以正确答案为1，即“生産が多すぎて、消費が少ないとき”。



由此可见指示代词在句中,可以“上下前后”纵横驰骋。

攻略方法: 瞻前顾后, 去伪存真

例③ 性格は明るくて、友達も多い方ですが、中学時代に友人に少し仲間はずれにされたことがあります、それでずっと悩んできました。みんなに好かれようとするのは、そのせいかもしれません。こんな「マイナス思考」の考え方を考えるにはどうすればいいのでしょうか。

(東京・A子)

(藤原正彦「藤原正彦の人生案内」による)

問 筆者が「そのせい」と考えていることはどのようなことか。

1. 性格が明るく、友達も多い方だということ
2. 関心をもっていない人からも好かれようとする事
3. もっと話をしようとして、しつこくなってしまうこと
4. 仲間はずれにされたことをずっと悩んできたこと

通过对全文的阅读,指示代词“そのせい”指的是前面已经提到的“仲間はずれにされたことをずっと悩んできたこと”,所以正确答案是4。

指示代词有的比较简单,有的是理解全文的关键所在。对于“指示代词”,决不能“忽略不计”。看到这些“指示代词”,有时仿佛觉得像拦在长句中的“拦路虎”,只有搬掉了它,才能通达全句。因此,对于日语中的指示代词的这种特点,我们的攻略方法是:“瞻前顾后,去伪存真。”

練習問題 1:

嫌いだった野菜が食べられるようになったときのことを思い出してください。嫌いな野菜を食べるときにも、大人へ階段を意識することがあったのではないのでしょうか。

ぼくが子どもの頃は卵が貴重品だったのですが、その大好きな卵料理に、大嫌いなニンジンやピーマンが入っているときは正直悲しかった。子供心に「なんてことしてくれるんだ」と思うわけですが、それでも我慢して食べなければならない。半分は大好きな卵ですから、全部嫌いになったわけではない。そして嫌いなものと好きなものが一緒になっている料理を食べているうちに、なんとなく「大人になったなあ」という気分を味わったものです。ある種の誇らしさを覚えたといってもいいでしょう。こういう経験から、子供は未来を自覚していくものかもしれません。今は何でもあるから、嫌いなものを無理して子供に食べさせることはないだろうと考える人が増えました。卵が好きな子には卵だけ食べさせる。ニンジンやピーマンは大人になれば自然に食べるようになるだろう…というのは大きな間違いで、子供向きのものばかりを与えられてきた彼らには、それを好きになるチャンスがありません。

(大林宣彦「なぜ若者は老人に席を譲らなくなったのか」による)

問 「こういう経験」とは、どのようなものか。

1. 嫌いなものが入った料理を食べられたことで、大人になったと感じた経験



2. 好きな卵料理に嫌いな食べ物が入っていて、とても悲しく思った経験
3. 卵が貴重であることを知って、ありがたく思いながら味わって食べた経験
4. 大人になった気分を味わうために、嫌いなものを我慢して食べた経験

練習問題 2：

部下に対して、ほめた方がいいのか、叱った方がいいのか、心理学的に言ってどちらが効果的か、などと質問されることがある。部下の扱い方というものはなかなか難しいので、心理学の知恵によって、よい方法を知りたいと思われるのであろう。ほめるとつけ上がる、叱るとシュンとして何もしなくなる、一体どうしたらいいのか、などと言われる人もある。

心理学者で、このような疑問を解くため実験をした人がある。グループを三つに分けて、どれにも同じような単純な仕事を与え、終わった後で第1のグループは結果のいかんにかかわらず、よくできたとほめる。第2のグループは全員に対して、もっとできるはずだと思っていたのにと叱る。第3のグループは、ほめも叱りもしない。そうして翌日はまた似たような課題を与え、前日よりどの程度進歩したかを見る。そうすると、二日目は叱ったグループが一番よく進歩し、次はほめたグループ、何も言わなかったグループ、ということになる。

(河合隼雄『働きざかりの心理学』による)

問 「このような疑問」とあるが、どのような疑問か。

1. 部下にどのような仕事をさせるのが適当かという疑問
2. 心理学の知恵によって部下の扱い方がわかるかという疑問
3. 心理学者は、部下をどのように叱っているのかという疑問
4. 部下は、ほめた方が効果的か叱った方が効果的かという疑問

思考問題：

下面句子中“指示代词”指代的是什么？

問題 1

…三四郎はこの手紙を見て、なんだか古ぼけた昔から届いたような気がした。母にはすまないが、こんなものを読んでいる暇はないとまで考えた。それにもかかわらず繰り返して二回読んだ。要するに自分がもし現実世界と接触しているならば、今のところ母よりほかにはないだろう。その母は古い人で古いいなかにおる。そのほかには汽車の中で乗り合わせた女がいる。あれは現実世界の稲妻である。接触したというには、あまりに短くてかつあまりに鋭すぎた。——三四郎は母の言いつけどおり野々宮宗八を尋ねることにした。

(夏目漱石『三四郎』により)

問題 2

彼は退屈しのぎにメニューを広げてみた。それで初めてここがコーヒー専門店であることを知った。メニューには何十種類ものコーヒーの銘柄が並んでいた。注文する前にこのメニューを広げなくてよかったと彼は思った。もし先に見ていたら、単に「コーヒー」とだ



け注文するのは申し訳ないような気がして、コロンビアだとかモカだとかを注文し、五十円か百円かの余分な出費をしていたに違いない。今の彼は、その程度の出費でも痛かった。もしも約束がなければ、こんなふうに喫茶店に入ることさえなかったはずだ。…

(東野圭吾『白夜行』により)



第三课 难点攻略：找长定语

读解最重要的是破解文章中复杂的长句子，掌握了构成长句子的关键，问题也就迎刃而解了。日语长句的特点有以下几点：①长定语（长定语句中又包含“双定语句”）；②带有引用的定语长句（常以“という”和“ような”引导一个长定语）；③带有被动态的长定语（放在下一课讲）。

读解难点之三：定语太长，引用太多，“环环相扣，层层相联”

“长定语”

我们说过日语句子结构一般都是以“ます”或者“です”结句。另外，日语句子的结构大多是“实”、“虚”相间，即，一个“实词”一个“虚词”。

☞ 例① 関東地方は、昨日から一転、今日はお花見日和となった。

我们看一下其“间架结构”：

関東地方 は、昨日 から 一転、今日 は お花見日和 となった。

实 虚 实 虚 实 实 虚 实 虚 实

我们再仔细看就会发现这些日语“虚词”（助词）的前面，大多数必须接名词（体言），而名词前是可以接定语的，因此，从句子结构上来说，日语句多定语，而且多长定语，也就不足为奇了。而刚才那一句加上定语也可以这样说：

関東地方は、強風が吹き荒れた昨日から一転、今日は穏やかなお花見日和となった。

“強風が吹き荒れた”就是含有“主谓结构”的长定语句（相当于定语从句），“穏やかな”也是一个定语。如果句子再变呢？我们拭目以待：

多くの日本の桜の名所を持った関東地方は強風が吹き荒れた昨日から一転、桜が満開になった今日は穏やかなお花見日和となった。

这个句子，句中所有的名词都“披挂”上了或长或短的定语。和最初的句子比起来膨胀了很多。变成了彻头彻尾的复杂的长句。或许可以说，日语的结构滋生了长定语。了解了日语的长定语结构这一特点，有助于我们在解读日语长句时能够“由表及里”，找出句子的本来面目。

接下来，请看下面另一个“庞然大物”，看我们是否能快速地把它“打回原形”？

☞ 例② 47回目を迎えた「山形花笠まつり」、初日は 県内外から 43 団体、3800 人の踊り手が 参加しました。日中の最高気温が 30.7℃の山形市内は、夜になっても 蒸し暑さが続き、踊り手たちは 額に汗を浮かべながら、「ヤッショ、マカシヨ」の掛け声をあげ、趣向(しゅこう)を凝らした踊りを披露していました。

「色鮮やかな“笠の波”…山形花笠まつり開幕[社会]朝日新聞(2010)」

如果把它的长定语外衣去掉的话，就变成了：

“「山形花笠まつり」、初日は踊り手が参加しました。山形市内は、夜になっても 蒸し暑さが続き、踊り手たちは額に汗を浮かべながら、掛け声をあげ、踊りを披露していました。”而整个句子真的返璞归真了，只剩下了“实”、“虚”相间的“骨架”了。

因此,把握住了日语中的长定语能使我们练就一双“火眼金睛”,一眼就能看穿长句的本质,我们只要多读多练就能得到这双眼睛。

“双定语”

日语中的长定语多到了几乎是名词前面就要加上那么一个定语,否则显得这个名词会很“寂寞”。于是句子中就会出现“双重定语”甚至“多重定语”。就这样“环环相扣,盘根错节”。

例③ ラメ入りの黒地に青色のタワーが大きく描かれたワンピース姿で現れた吉高さん。「こだわりのもの」を聞くと、「うーん」としばらく悩んだ末に、「黒色が好きなんです。黒とか紫の濃い色。黒い服をつい選んじゃいますね」と答えた。

(村上春樹「ノルウェーの森」)

当我们看到这句时,头会一下子大起来,就像这个句子一样,“头重脚轻”。其实日语句子中长定语多,了解了日语结构这一特点,我们就可以对长句作“去伪存真”的处理,使它“返璞归真”。让我们找出句子中的长定语:

ラメ入りの黒地に青色のタワーが大きく描かれた ワンピース姿で現れた 吉高さん。「こだわりのもの」を聞くと、「うーん」としばらく悩んだ末に、「黒色が好きなんです。黒とか紫の濃い色。黒い服をつい選んじゃいますね」と答えた。

其中“ラメ入りの黒地に青色のタワーが大きく描かれた”和“ワンピース姿で現れた”都是修饰“吉高さん”,也就是说“吉高さん”的前面是个“双定语”。待我们剥掉句子中的长定语后,就成了:“吉高さん、「こだわりのもの」を聞くと、末に「…」と答えた。”

这样句子的结构就一目了然了。

例④ 東北を代表する(长定语)夏祭り、秋田県の「竿燈まつり」が始まり、夏の夜空が光りの稲穂で彩られました。

沿道に詰めかけた(长定语)大勢の(双重长定语)観光客の(三重长定语)かけ声のもと、一斉に上がった(长定语)光りの(双重长定语)稲穂。今年の竿燈まつりでは 70 団体、253 本の竿燈が 夏の夜空を彩ります。軽快なおはやしに合わせて、差し手は手や額、腰にさおを載せ、次々と迫力ある(三重长定语)妙技を繰り広げます。

(秋田県の「竿燈まつり」開幕[社会]朝日新聞(2010))

由此可见,“长定语”乃至“多重定语”是日语的“常客”,我们可要学会好好招待这个“客人”啊。

带引用的长定语

所谓“带引用的长定语”,就是由“~ような”和“~という(といった・との)”来连接前后两个句子,前者事实上构成了后者的定语。这也是日语中常见的句子。

例⑤ …私は計算に出向く先々で休憩時間になるとそこにあるソファーに寝かせてもらうのだが、寝心地の良いソファーというのはまずない。大抵はいきあたりばったりで買ってきたような(长定语)雑な(双重长定语)つくり(三重长定语)のソファーだし、見映えの(长定语)良い一見高級そうな(双重长定语)ソファーでも実際に寝転んでみるとがっかりしてしまう(长定语)場合がほとんどなのだ。人々がどうしてもそんなにソファー選びに手を抜

くのかよくわからない。…

(村上春樹『世界の終りとハードボイルド・ワンダーランド』により)

遇到“长定语”是必然的,但我们要耐心,有信心才能把“多重定语”层层剥落。

再看下一个例子:

例⑥ 今日見学に来た新入生たちのことを考えた。

彼は本当に、唐沢雪穂のことをよく覚えていなかった。奇麗な女の子だという印象を持ったのは事実だ。だが、それだけだった。どういう顔だったのかは、今では正確には思い出せない。一言二言、言葉を交わしただけだし、しぐさなどをじっくりと観察したわけでもないから、お嬢様タイプだったのかどうかさえ判断できなかった。同輩の長山がはしゃいでいたのは覚えているが、それがあの娘のせいだったということさえ、今初めて知った。

むしろ一成の記憶に残っているのは、唐沢雪穂の付き添いのようにしてやってきた、川島江利子のほうだった。化粧気は全くなく、洋服もおとなしい、素朴という言葉がぴったりの娘だった。

(東野圭吾『白夜行』により)

以上这种用“～という”引用的句子也是不折不扣的长定语,在句中起到修饰名词(形式体言)的作用。所以一定要关注。再例如:

例⑦ 高齢者の行方がわからないケースが次々と判明していることを受けて、仙谷官房長官は5日午前の記者会見で、個人情報保護法の改正も視野に検討する考えを明らかにした。

仙谷官房長官は「(現時点では)正確な実態がまだ明らかになっていないので、閣僚間で一体全体、実態がどうなっているんだろうということを調べ始めなければいけない」と述べ、関係閣僚で調査に乗り出す考えを表明した。

这种带引用的长定语是比较能被辨别出来的。但有时引用太多,使得句子层层相连,难解难分。下面,我们开始操练吧。

攻略方法：挤出长定语，还原句子间架结构

練習問題1：

最近、人間の認知、つまり、「人がどのようにものを見、どのようにものを感じるか」についての研究が進んでいて、それについて勉強する機会が増えました。そこで知ったことなのですが、人間は、起こっているすべてのことを見たり、感じたりするのではなく、そのほんの一部の情報のみを処理するということです。

ちょっと言葉がむずかしくなりましたが、時計を見ている人には時計のことはよくわかっていても、同じ部屋の、たとえばテレビの番組には目もやっていなければ、音がしていてもほとんど何を聴いているのかを無視してしまうのです。

(和田秀樹『あなたは、絶対幸運をつかめる心理学』による)

問 「時計を見ている人」の説明として、正しいものはどれか。

1. テレビも時計も目に入っているが、時計からの情報がより正確だと思っている。
2. テレビも時計も見ているが、どちらが正しいかはあまり考えていない。